

大町学区

社協だより

大町学区社会福祉協議会

(大町集会所内)

広島市安佐南区

大町東三丁目七二二五-六

TEL (082) 87913964

大町学区社会福祉協議会は、地域のさまざまな団体・人・行政とつながり、たすけあい、大町に住んでいる人のふだんの暮らしを良くするしくみ、孤立させないしくみを作っていくこうとする団体です。

そのために住民同士がつながり合い、地域における様々な困りごとなどを誰もが気軽に相談できる体制を作り、課題解決をしていけるまちづくりを目指しています。

今年度より始めた交流カフェ



実施中の事業

住民同士のつながり合い (なじみの関係作り)	のびのびサロン (開催)	毎月第1第3月曜日午後1時30分、 集会所で開催
	てくてく大町歩こうや (開催)	毎月第4金曜日14時、集会所に集合し 近隣を散策
	交流カフェ** (New!) ** (開催)	毎週水曜、金曜、10時~11時30分、 集会所2階和室で開催
	いきいき百歳体操活動 (支援)	大町富士サロン (大町富士集会所) 五軒屋交流サロン (五軒屋集会所) けんぞうかい (大町集会所) リガーレサロン (下大町リガーレ)
	健康ラジオ体操 (支援)	青空クラブ (川東第2高速道路下広場)
	子育て活動 (支援)	いちごミルク (毎週月曜、大町集会所)
つながり困りごとを見つける	よつばのクローバー活動 (参加)	

相談拠点づくり (継続活動)

毎週火水木金9:30~の午前中スタッフが常駐し、のびのびサロン・集会所や車椅子の空き状況などの問い合わせや相談に対応しています。また、拠点スタッフのスキルアップ研修を受講しています。

敬老の祝い (継続活動)

長年社会に貢献してこられた高齢者に感謝するとともに、大町社協理事でもある民児協スタッフ協力により、百歳・75歳になられた方々にお祝いを贈りました。

赤い羽根共同募金 (継続活動)

10月から3月まで赤い羽根共同募金を実施しています。街頭募金活動をフジ古市店で実施し、18,925円の募金協力をいただきました。また、大町郵便局に赤い羽根共同募金箱を設置し、1,213円の募金協力をいただきました。ありがとうございます。なお、個人募金や町内会・自治会の皆様のご協力で戸別募金を実施しております。引き続き協力を宜しくお願い致します。



地域交流授業 (継続活動参加)

大町小学校児童に大町在住のいろいろな経験をされた方々と交流・共同体験を通じて、大町の人や場所を好きになってもらうことを目指しています。

交流テーマ 昔のあそび、安全ボランティア員との交流、地域の方と協力して行う地域清掃、子供110番の家ウォークラリー、ががら山・武田山登山など

武田山登山 (憩いの広場にて)



広報 (継続活動)

社協だより、コミュニティカレンダー

安佐中学校課外活動支援募金

安東社協、毘沙門台社協、緑井社協と共同で募金活動を実施し当初の目標額を達成できました。ありがとうございます。

大町民児協からのお知らせ

大町学区民生委員児童委員協議会
会長 光原 順子
副会長 林 純子 山根 玲子

・部村二三男協力が村上委員を、原田知子協力が山根委員を、花本直美協力が塚本委員を、芳岡千登世協力が橋本委員を補助します。

・民生委員は児童委員を兼ねています。(民生委員児童委員)。中でも「主任児童委員」は、児童に関することに特に重点をおいて活動しています。

・民生委員児童委員は、福祉・子育てに関する地域の身近な相談相手です。個人情報の保護を遵守して活動していますので、安心してご相談ください。

・お住まいの地域の民生委員にご相談がある場合は、安佐南区役所厚生部地域支え合い課へ tel.831-5003

あなたの地域の担当民生委員児童委員

Table with 3 columns: 地域 (Area), 担当委員 (Responsible Staff), and 金額 (Amount). Lists various districts and their assigned staff members.

令和7年度福社会費

* 令和7年度福社会費のご協力ありがとうございました *

町内会・自治会の納入金額は、以下のとおりです。 単位：円

Table with 4 columns: 町内会・自治会 (Municipal Association), 金額 (円) (Amount), 町内会・自治会 (Municipal Association), 金額 (円) (Amount). Lists contributions from various districts.

赤い羽根共同募金の ご協力ありがとうございました

毎年10月1日より翌3月31日まで、全国で共同募金活動を実施しています。大町学区で寄付頂いた募金は共同募金会で約3割を広域助成(主に広域災害の備え)に、約7割を地域助成として配分されます。この地域助成分を学区社協では、高齢者や子どもたちや障害者を支援する地域福祉活動などに使わせて頂いています。(令和7年12月31日現在)

Table with 2 columns: 町内会・自治会 (Municipal Association), 金額 (円) (Amount). Summary of total contributions.

地域団体連携支援基金事業

地区社協と各種地域団体が連携した地域課題の解決(地域コミュニティの活性化など)に向けた取り組みを支援する本事業に、今年度大町(仮)フェスを申請して9月28日に開催しました。この新しい大型イベントの大町(仮)フェスは、多くの団体サークルの参加を得て、また300名弱の運営スタッフの協力で、目標とした1200名を超える1500名強の来場者を迎えることができました。大町LMOの手上げ申請団体の総力により、来場者数という目標は達成できたという事は、大町LMOの実効性が確認できたと考えています。当日の様子をごらん下さい。

校門付近

(受付でお待たせしごめんなさい)



スタンプラリー受付コーナー



子ども会「きれいにし隊」による、ゴミ箱回収・分別を 広島きれい(株)様に指導頂きました。最後はパッカー車で!感謝です!



食べ物ブース:5台のキッチンカーと地元お好み店そして体協さんのうどん屋さん どちらも大人気



グラウンドでも、たくさんのブースで大賑わい



スポーツやゲームブース、休憩してはぐるっと回ります



子ども達に大人気の泡フェス



5つの団体が協力した展示ブース、右では千羽鶴を折りました。(大町観音水試飲コーナーも)



休憩コーナーと向こうは防災ブース



大町LMO(おおまちエルモ)のご紹介

大町学区の多くの団体・サークルが直面している課題は参加者の減少、担い手の不足です。これは参加者や担い手の主力であった専業主婦世帯の減少、退職年齢の引き上げで地域デビューの遅延、現在の担い手の高齢化等の要因であり大町だけの現象ではありません。そこで大町市もこういった地域活動の衰退への対策として、地域が主体的に活動できるよう専従雇用の人件費および活動拠点や課題解決事業にかかる事業費を助成する「ひろしまLMO」を提唱しています。

大町学区もこの制度を活用して、大町LMOを設立しようと各団体・サークルに呼びかけこの2年間、大町の現状認識・課題・対策のワークショップを行い取りまとめることに、本当に参加団体がまとまって活動できるのかの試行「大町(仮)フェス」を行ってきました。

結果、20団体サークルが大町LMOを立ち上げて課題に対処しようとして合意し、令和8年1月25日(日)大町LMO設立総会を古市民館にて開催し全会一致で設立を議決しました。

構成団体

大町学区社会福祉協議会	大町学区老人クラブ連合会
大町学区連合町内会	大町女性会
大町学区公衆衛生推進協議会	広島市立大町小学校PTA
大町学区自主防災組織連合会	広島市立大町幼稚園PTA
大町学区防犯組合	いちごミルク
大町学区献血推進協議会	大町パソコン
大町地区民生委員児童委員協議会	武田山の緑を守る会
大町地区青少年健全育成連絡協議会	里山を守る会
大町学区体育協会	安佐南消防団大須分団
大町学区子ども会連合会	有志の会

役員

会長	田原 潤	有志の会会長
副会長	野地 貞己	社協会長
副会長	明代 博史	体協会長
副会長	中野 真弘	連町会長
会計	長井 龍也	社協理事
監事	植木 靖子	自主防副会長
監事	北村 諒子	大町幼稚園 PTA 会長

田原会長のメッセージ

大町LMOがよいよスタートします。コロナ禍を前後して最近みんなが集って行うイベントが少なくなつたなあと感じていました。「大町をどげんかせんといかん」との思いで、みんなと一緒に考えた事業を、みんなで再検討を加えながら遂行していきたいと思えます。

「人にやさしく、明るく、楽しい大町」の実現にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



大町LMOが計画している事業：「みんなの協力で、人にやさしく明るく楽しい大町」を目指して

テーマ	計画事業(予定時期)
にぎわいの創出	大町フェス(毎年9月最終日曜日)
	武田山ハイキングなど健康教室(令和8年度以降)
	スポーツ体験イベント(令和8年度以降)
大町の歴史・文化の伝承と自然の保護	同好者による研究会の設置(令和9年度以降)
防災意識の向上	防災知識と防災訓練による意識向上(令和8年度以降)
ご近所さん付き合いについて検討	小学校地域交流授業(全学年の交流授業の継続)
	単身高齢者、子育て世代、障害など持つ方の集えるフリースペース創設(令和8年度以降)
	近所づきあいを深めるための交流イベント(令和10年度以降)
団体サークル活動について支援	広報活動の一元化(令和8年度以降)
	SNS等広報手段の検討(令和8年度以降)